大高SDGs通信

2020 10・11月号

Otaka Company SDGs newsletter

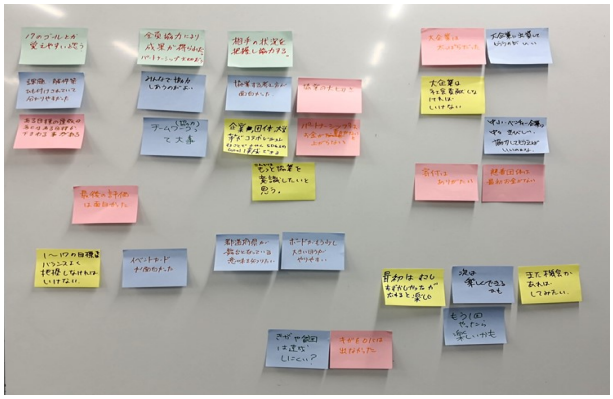
Human & Quality

とやま環境フェア2020について

富山県などが主催するとやま環境フェアは例年10月に開催されますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年はウェブ上で開催されています。ウェブ開催期間は令和2年12月1日～令和3年1月11日。当社も展示中：https://www.eco-toyama.jp/

SDGsボートゲームについて

10月29日にKUKULUメンバーと有志社員を巻き込んで、SDGsボードゲーム体験会を開催しました。このゲームは社会課題を自分ゴト化する体感型ゲームで、SDGsに関する日本の課題解決事例を楽しく学びながら「SDGs達成」と「自己成長」を目指します。体験後、参加者たちから「17のゴールが覚えやすい」「パートナーシップが大切」などいろいろ感想がありました。



社外でSDGs事例発表について

10月2日に開催された富山県消費者大会及び11月29日に開催された新川広域SDGs推進セミナーで、SDGs取組み事例として、社長より会社の取組みを紹介しました。

※SDGsアンケート調査について

社内のSDGs浸透状況やSDGs取組み状況等を把握するために、12月に例年通りのSDGsアンケート調査を実施します。 ペーパーレス化を図るため、今年度はMicrosoft Formsを利用して、WEBアンケート を試します。ご協力を宜しくお願い致します。

編集：企画調査室　田

創業の精神 ～ チャレンジハングリー ～

大高 SDGs 通信

2020 10・11 月号

Otaka Company SDGs newsletter

SDGsゲーム

SDGsは国際社会共通の目標ということで、世界中で普及活動が行われています。SDGsを理解するため、SDGsを教えるため、SDGsゲームはいろいろ出ています。今回はSDGsを楽しく学ぶためのSDGsゲームを紹介します。

2030　SDGs

開発者：一般社団法人イマココラボと株式会社プロジェクトデザインの共同制作

ゲーム内容：環境・経済・社会にフォーカスした目標がチームごとに与えられ、それを時間内に達成するために様々なプロジェクトを実施。SDGsで掲げられている課題を達成するために、お金や時間をどう使えばいいのか、実施したプロジェクトがどう社会に影響を与えるのかを体感することができる。

参加人数：5人～50人　　所要時間：3時間程度

詳細説明：https://imacocollabo.or.jp/games/2030sdgs/

SDGsボードゲーム　（公認ファシリテーター：町野さん）

正式名：「Sustainable World BOARDGAME」

開発者：一般社団法人未来技術推進協会

ゲーム内容：環境・経済・社会を軸にして、マス目が並んでいる日本地図のボード上をサイコロの出た数だけコマを進ませる。止まったマスには、環境・経済・社会いずれかミッションが書かれたカードを引く指示があり、そのカードに記載されているSDGsの目標に関する具体的な課題の内容と、解決手法を元にミッションをクリアしていく。

参加人数：4人～8人　所要時間：2時間程度

詳細説明：https://www.future-creation-support.com/sdgs-boardgame/

ババ抜き　（企画調査室1セットあり）

開発者：株式会社笑下村塾

ゲーム内容：基本はババ抜きと同じで、数字がそろったカードを捨てるときに、数字ごとに決められた指示に従う。身振り手振りを使ったアクションをとる指示もある。カードでただ遊ぶだけでなく体も動かすことで、SDGsの開発目標をより記憶に定着させながら学べる。

参加人数：5人～6人　所要時間：10-15分　（1ゲーム）

詳細説明：https://shouka.thebase.in/items/11863947

SDGs　X　（企画調査室1セットあり）

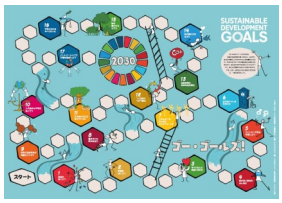
開発者：金沢工業大学の学生プロジェクト「SDGs Global Youth Innovators」と株式会社リバースプロジェクトと共同で開発

ゲーム内容：解決策を提案する「リソースカード」を使い「トレードオフカード」が提示する問題を解決し、SDGsの達成に向けたアイデア創出カードゲーム。

参加人数：2人～3人（1グループ）　　所要時間：2時間程度

詳細説明：https://www.kanazawa-it.ac.jp/kitnews/2020/0121_X_android.html

ゴー・ゴールズ（すごろくでSDGsを学ぼう）



開発者：国連地域広報センター　（企画調査室1セットあり）

ゲーム内容：日本のすごろくとほぼ同じ 。遊び方は簡単。

参加人数：4人～6人　所要時間：30～40分程度

詳細説明：https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/go-goals/

編集：企画調査室　田

創業の精神 ～ チャレン